

八木きわ子 （きわ） フランス文藝翻譯家。明治二十六年四月六日東京生れ、昭和二十一年五月八日歿（二八九三—一九〇〇）。筆名八木きわ、大久保きわ子。大正十年マテネ・フランス卒。母校教員。翻譯家大久保和郎 （わきこ） の母。

著譯書『國詩選集』（合著・東京日日新聞社編、大正七年八月五日東京圖書刊行社）、『ブルザック作コ谷間の白白合』（大正九年一月二十日八日新潮社。再刊・昭和十二年十月二十日春陽堂書店「春陽堂文庫」）、セギユール作『可憐兒』（大正九年十一月五日家庭讀物刊行會「世界少年文藝名作集」）、マルフォンス・ドオデエ作『私生兒（前篇）』（大正十三年九月二十日新社）、マルフォンス・ドオデエ作『月曜物語』（譯註、大正十五年七月十七日白水社「佛蘭西文藝譯註叢書」）、マナートル・フランソワ作『襤衣』（昭和二年七月一日宮崎・日向新しき村出版部「村の本」）、ドオデエ作『プチ・シヨウズ（ちび君）』（昭和八年十月十日岩波書店「岩波文庫」）、ドオデエ作『ヂヤツク第二部』（昭和十一年八月十五日春陽堂書店「春陽堂文庫」）、マナートル・フランソワ作『襤衣（世一篇）』（昭和十四年十月二十一日改造社「改造文庫」）、ドローデー作『マチ・シヨウズ（ちび君）』（昭和二十四年一月十日新人社「世界大衆文藝全集」）等。

